

8月の園だより

令和4年7月20日
杉並区立西荻北子保育園
園長 石床 美穂子

「みんなであつながつて～PTA活動を生かして～」

園長 石床 美穂子

コロナ禍で、PTA活動を縮小したり、中止したりすることが多い2年間でした。それでも保護者の方たちが“子どもたちのために”という思いをもち、次年度へとバトンをつないでくださっていました。今年度は、なるべく活動が行えるようにと、PTA役員の方々を中心に、それぞれの担当の方が、感染の状況を考慮しながら園と相談し対策を立て計画を進めています。

先日、PTA主催の『保護者子育てサロンミーティング～園長先生も参加！～』が行われました。PTA活動の講演講習会担当の3名の方が、準備をしてくださり、係の方の他に19名の方の参加がありました。事前にアンケートで話したいことを聞いて、いくつかのテーマを決め、グループごとに話をしました。係の方のスムーズな進行のもと、アイスブレイクで緊張をほぐし、付箋を使って個々の考えを出してから話し合いが始まりました。話が進むにつれて、表情もほぐれ、お互いの話にしっかりと耳を傾けている保護者の皆さんの姿に触れ、「素敵だな。」と思いました。西荻北子保育園の保護者の皆さんは、笑顔がいっぱい温かく、人とのつながりを大切にしていることを実感できました。参加者の方の感想に、「子育てについて不安があったが、悩みを共有できて気持ち楽になった。」「解決方法を具体的に知ることができてよかった。」「発見が多く、新たな気持ちでいろいろと臨めそう。」などの感想がありました。子育てには、正解がありませんから、一人で子どもと向き合っているときに悩んで不安になったり、疲れ切ってしまったことがあります。そのような時に、誰かに話せることで、「大丈夫。」と気持ち楽になったり、「こうしてみようかな。」と前向きになったりします。また、いろいろな見方ややり方を知ること、子どもとの関わり方にもよい変化がみられることがあります。一人で抱え込まず、同じ園の保護者同士というコミュニティーを生かして、保護者の方々が元気になっていくことが、子どもたちのしあわせにもつながっていきます。

2学期は、“なつまつり”や“人形劇”などPTAの方と一緒に進めていく活動があります。教職員と保護者の方たち、保護者同士等、子どもの育ちを真ん中にして、互いを知り合う機会をもち対話することで、西荻北子保育園のつながりができくと思えます。コロナウイルス感染拡大についても予断を許さない状況ではありますが、様々な対策を立てながら少しでも対面での機会をつくれるように進めていこうと考えています。“子どもたちの豊かな体験のために”どうぞ、ご理解とご協力をよろしく願っています。

「園長先生の話しも、今後また聞ける機会があると嬉しいです。」との感想もいただきました。話がしたいときは、どうぞ、気楽に声をかけてください。お子さんの話をして、一緒に考え、いいと探しをして、笑い合いましょう。いつでも大丈夫です。お待ちしております。(夏季休業中もどうぞ。)

子どもたちの様子と8月のねらい

暑い日が続きなかなか園庭では遊べませんが、うさぎ組の子どもたちは、自分の遊びたい遊びに保育者を誘ってままごとや動物積み木で遊んでいます。<ま組の子どもたちは保育室で歌っている歌を友達と喜んで歌ったり、歌いながらお絵かきを楽しんだりしています。また、そう組の子どもたちは折り紙製作を楽しんでいます。すいかやかき氷をつくり、友達同士で教え合う姿が見られています。

長時間保育 うさぎ組

<今月のねらい>

- 夏ならではの遊びを保育者と一緒に楽しむ。
- 異年齢児と関わって生活することや遊ぶことを楽しむ。
- 夏の生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。

長時間保育 <ま組

<今月のねらい>

- 水遊びや虫取りなど夏ならではの遊びを友達と一緒に楽しむ。
- 異年齢児との関わりを楽しんだり、優しく接しようとする。
- 夏の生活の仕方がわかって、自分のことは自分でする。

長時間保育 そう組

<今月のねらい>

- 自分なりのめあてをもったり、友達と意思を出し合ったりしながら、夏ならではの遊びや自分で選んだ遊びをすることを楽しむ。
- 異年齢児との関わり方を考えて優しく接しようしたり、一緒に遊んだりする。
- 夏の生活の仕方が分かり、見通しをもって生活を進めようとする。

<家庭との連携>

暑さやプール活動で疲れが出てくると思います。子ども一人ひとりの体調を気に掛けながら、楽しく過ごせるように活動を工夫していきます。ご家庭でも、十分な休息が取れるように早め就寝して、体調管理をお願いいたします。体調で気になることがありましたら、メモでお知らせください。